

曇り空も歩き始めてまもなく青空に変わり、絶好の観察会日和。ガマズミの果汁は、栄養価が高い飲料と聞き、酸味のある実を食べて納得。林縁はトキリマメ、カマツカ、ゴンズイ、ムラサキシキブ、コマユミなど色とりどりの実がきれい。ヌルデの虫こぶ「ヌルデミミフシ」を手にとり、中をのぞくとシロアブラムシの成虫と幼虫がびっしり・・・お歯黒の原料や染料に使用された。アキノウナギツカミを観察、広場向かいの林縁にツクバトリカブトが鮮やかに咲いていた。野草園はサラシナショウマやシロヨメナがきれいに咲き、ヤブミョウガ、ノササゲ、ハダカホオズキ、クサナギオゴケなどいろいろな実で秋の深まりを感じた。最後に、木の枝や葉、ドングリを使ったミニクラフトを楽しみ、秋を持ち帰り。里山の秋を満喫した観察会となりました。(担当: 晝間)



里山歩きを楽しむ



産卵間近のジョロウグモ!



ヌルデミミフシの観察



アキノウナギツカミ



トキリマメ (実)



カマツカ(実)



ヤクシソウ



シロヨメナ



ツクバトリカブト



サラシナショウマ



サルトリイバラ



ノササゲ(実)



野草園



ミニクラフト

次回 2月23日(土)「里山の冬 春を待つ生きものたち」 集合:谷当里山パーク 9:30